

令和 8 年度第 1 回龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会

令和 8 年 7 月 3 日(金)

午前10時 30分から

歴史民俗資料館2階 多目的室

会 議 次 第

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 委員紹介

4 議 事

・議案第1号 令和 7 年度歴史民俗資料館事業報告について

・その他

5 閉 会

令和 8 年度 第 1 回

龍ヶ崎市歴史民俗資料館 運営審議会資料

龍ヶ崎市教育委員会文化・生涯学習課
(龍ヶ崎市歴史民俗資料館)

目次

◇議案第1号

令和 7 年度歴史民俗資料館事業報告について 3 頁

別紙1 龍ヶ崎市歴史民俗資料館入館者数(令和 3 年度～令和 7 年度)

別紙2 龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

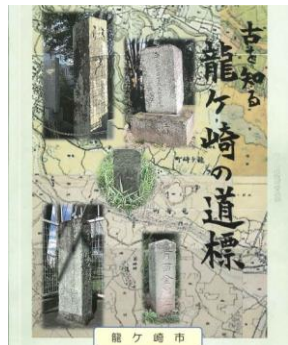
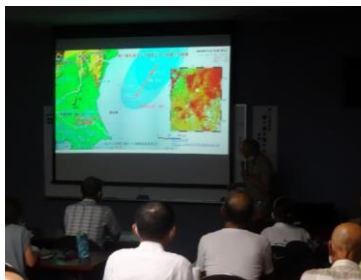
令和7年度 歴史民俗資料館事業報告

1 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

(1) 常設展示			
展示期間	令和 7 年4月 1 日(火)～令和 8 年3月31 日(日)		
日 数	301 日	入館者数	18,647 人
展示場所	常設展示室、エントランス、屋外		
内 容	龍ヶ崎の歴史と民俗をテーマに、関連資料を時系列的に展示。 エントランスホールには、国選択・県指定無形民俗文化財「龍ヶ崎の撞舞」のジオラマと視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映している。屋外には、市指定文化財4号機関車をはじめ、納屋を模した建物に田舟や水稻栽培に用いた農具、商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示している。		
			
龍ヶ崎の撞舞 1/4 ジオラマ			
(2) 資料館ボランティア作品展「布れあい染織展」			
開催期間	4月15 日(火)～5月 6 日(日)		
日 数	20 日	入館者数	1,061 人
開催場所	企画展示室		
内 容	体験学習等で協働している資料館ボランティアと共催で、染色や機織りの活動成果(作品等)を展示した。また、ケーブルテレビ j-com の取材を受けた。		
			
j-com の取材の様子			
(3) 収蔵品展「つくば科学万博 40 周年展」			
開催期間	5 月17 日(火)～6 月 22 日(日)		
日 数	32 日	入館者数	2,807 人
開催場所	企画展示室		
内 容	「Expo2025 大阪・関西万博」開催にあわせて、「科学万博つくば‘85」の開催 40 周年を記念し、関連する収蔵品を展示した。		
			
新聞記者の取材の様子			
(4) 長崎原爆被災写真パネル展			
開催期間	6 月 28 日(土)～7月13 日(日)		
日 数	14 日	入館者数	723 人
開催場所	企画展示室		
内 容	原爆が投下された長崎の惨状を記録した写真パネルを展示し、核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝えました。また、会場に折り鶴の作成スペースを設け、8 月に中学生派遣の際に長崎原爆資料館に届け奉納しました。 共催：人事行政課		
			
パネル展示風景			

(5) 収蔵品展「資料が語る戦争の記憶」				
開催期間	8月1日(火)～9月7日(日)			
日数	33日	入館者数	2,474人	
開催場所	企画展示室			
内容	戦後 80 年を迎え、市内にあった軍需工場羽田精機の資料や予科練出身者の遺品、空襲等の聞き取り資料や収蔵資料を展示し、戦時下の龍ヶ崎の悲劇を伝え、不戦・平和へのメッセージを語り継いでもらうための機会とした。			
出征者の遺品				
(6) 絹本著色十六羅漢像複製品公開展				
開催期間	9月20日(火)～10月19日(日)			
日数	26日	入館者数	1,361人	
開催場所	企画展示室			
内容	平成29年(2017)から4年をかけて作成した国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」(原資料「金龍寺所蔵・県立歴史館寄託」)の複製を展示し、文化財への理解を深めた。			
十六羅漢像の広報				
(7) 郷土作家「中原篤徳」展				
開催期間	10月25日(土)～11月9日(日)			
日数	14日	入館者数	1,487人	
開催場所	企画展示室、多目的室			
内容	龍ヶ崎ゆかりの作家の顕彰と優れた作品を鑑賞する機会として、流通経済大学教授(日展審査員・日本彫刻会監事)である中原篤徳氏の作品18点を展示した。共催:市民文化芸術フェスティバル運営委員会			
作品解説する中原氏				
(8) 龍ヶ崎小学校タイムカプセル展				
開催期間	11月23日(土)～12月20日(日)			
日数	24日	入館者数	1,485人	
開催場所	企画展示室、多目的室			
内容	龍ヶ崎小学校創立 105 周年記念のタイムカプセルが、45 年の時を経て創立 150 周年の今年(令和7年)に開封された。カプセルに収めた思い出の品々を公開展示、あわせて、同じ年代の当館所蔵の龍ヶ崎小学校の写真やレコード、雑誌等を展示した。			
開封された写真資料				
(9) 収蔵品展「昔の道具 よむ・みる・きく・あそぶ」				
開催期間	1月17日(火)～3月29日(日)			
日数	62日	入館者数	3,707人	
開催場所	企画展示室			
内容	昭和の生活風景をうかがい知る絵本や紙芝居、メンコやベーゴマ等の遊び道具、テレビやアニメのレコード等から、子どもたちのくらしの移り変わりを伝える資料を展示した。			
昔の「きく」道具				

2 普及事業の実施

(1) 郷土史講演会		 刊行された冊子の表紙
① 演題「古を知る 龍ヶ崎の道標」		
開催日	5月24日(土)	
開催場所	多目的室	
受講者数	30人	
講師	龍ヶ崎市民環境会議 文化環境部会会員	
内容	市域の道標の悉皆調査が行われ、現存している69基の調査報告書が刊行された。これを記念して、道標を調べる意義や面白さ、歴史的な価値について語っていただいた。	
② 演題「龍ヶ崎を揺する地震」		
開催日	8月30日(土)	 講演の様子
開催場所	多目的室	
受講者数	34人	
講師	須藤 研氏 (東京大学生産技術研究所名誉教授)	
内容	龍ヶ崎地震(大正10年)から「東日本大震災」まで、龍ヶ崎を揺するプレートや日本海溝から導かれる歴史的な地震を科学的に読み解き講演をしていただいた。	
(2) 古文書講座 ①初級コース「はじめての古文書」、②上級コース「近世古文書を読む」		
開催回数	① 初級コース(8回)、② 上級コース(8回)	
開催場所	多目的室	
受講者数	① 延べ188人 ②延べ136人	
講師	① 龍ヶ崎市古文書同好会員 ② 盛本昌広氏(市文化財保護審議会委員)	
内容	6月から2月までに各コースを8回、第1日曜に初級、第2日曜に上級を開講した。 ① 「御取締向廿七ヶ村組合議定書」 (桜井家文書)等 ② 「堀田伊豆守宛松平陸奥守(吉村)書状」 (師岡家文書)等	
(3) 歴史散歩		
開催日	① 4月12日(土)、② 6月7日(土)、 ③ 10月25日(土)、④ 3月14日(土)	
参加者数	① 19人 ②9人 ③11人 ④23人	
内容	市内の旧所名跡沿いにコースを設定し、周辺の遺跡、寺社等を見学しながら歴史的背景を解説した。 ① 市民遺産関鉄竜ヶ崎線の竜ヶ崎駅を起点に、並木通り、八坂神社、旧小野瀬邸、竹駒稲荷から駅に戻る周回コースを設定、寺社等を散策した。共催:市民活動センター ② あんパン発明者木村安兵衛に所縁ある寺社や祠等川原代地域を散策した。 共催:馴馬台ひなっこ協議会	
		 小貝川堤下の石塔前

	③ 関鉄竜ヶ崎線竜ヶ崎駅を起点に、般若院や大統寺、龍ヶ崎城跡等を散策した。 ④ 旧北文間小の飯塚氏頌徳碑から長沖町や豊田町の寺社、関東三大堰までを散策した。共催：久保台小学校区わくわく協議会 この他、龍ヶ崎・街歩き実行委員会主催の「龍ヶ崎【鉄・城濃いめ】な街歩き」の龍ヶ崎城跡解説や昭和 40 年代竜ヶ崎線の映像上、解説等に協力した。	
(4) れきみんシアター		
開催日	毎週土曜日	
開催場所	多目的室	
内 容	小学生と保護者等を対象に「まんが日本昔ばなし」を上映した。	
(5) 撞舞コスプレ体験		
開催日	① 7月 25 日(金)、②7 月 26 日(土)、③7 月 27 日(日)	
開催場所	エントランスホール	
参加者数	① 6 人、②6 人、③3 人	
内 容	文化財である撞舞への理解を深める機会として、寄贈された子どもサイズの舞男衣装を着て、撞舞展示コーナー前で写真撮影をした。	
舞男のポーズ		
(6) 8mm フィルムに映る「龍ヶ崎の記憶」上映会		
開催日	① 8月 16 日(土)、②9月 20 日(土)、③10月 18 日(土)	
開催場所	多目的室	
参加者数	① 7 人、②14 人、③6 人	
内 容	市民協働事業の「映像アーカイブによる街づくり」で集めた8mmフィルムの活用として、デジタル化して編集したDVDを上映した。	
上映会の様子		
(7) 龍ヶ崎市(まいど! My do!)出前講座		
開催日	① 5月 14 日(水)、② 6月 17 日(火)、③ 11月 7 日(金)	
受講者	① 馴柴小学校 3 年生(74人) ② 城ノ内小学校 3 年生(60人) ③ 龍ヶ崎小学校 3 年生(54人)	

内 容	希望のテーマ・分野等相談に応じて、次の内容で郷土の歴史を解説した。 ① いまの「龍ヶ崎市」ができるまで ② 龍ヶ崎の撞舞について ③ 龍ヶ崎の撞舞について	城ノ内小学校 3年生 社会科学習の授業 龍ヶ崎の撞舞（つくまい）について ～撞舞を見たことがありますか？～ ボク、まいりゅう！ 龍ヶ崎市の伝統芸能「撞舞」の舞男（まいおとこ）に憧れる龍の男の子だよ～ん。 今日は、しりょうかんの人に撞舞のお話をしてもらおうよ～ん。  解説資料の表紙
-----	---	---

3 体験学習教室の実施

(1) わら草履作り教室		 草履制作の様子
開催日	① 8月23日(土)、②8月24日(日)	
開催場所	体験学習室、屋外	
参加者数	① 8人、②8人	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	現在は触れることが少ない「わら」を用い、先人の知恵と製作技術を伝承した。	
(2) 注連飾り作り教室		 完成した注連飾り
開催日	① 12月13日(土)、②12月14日(日)	
開催場所	体験学習室、屋外	
参加者数	① 6人、②6人	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	青田刈りした後に日陰干した専用の稲藁を用いて、正月用の注連飾りを作成した。	
(3) 草木染め教室		 ②藍の生場染の風景
開催日	① 5月20日(火)と21日(水)、②8月5日(火)、③11月18日(火)	
開催場所	体験学習室、屋外	
参加者数	① 9人、②7人、③8人	
講師	職員、資料館ボランティア	
内容	身近な植物を使って、染めの技法を伝承した。 ① 春は2日間の工程で、桜の枝を材料に木綿のストールを染色した。 ② 夏は、資料館の畑で栽培した藍の生葉を材料に絹のストールを染色した。 ③ 秋は、こぶな草を材料に木綿のストールを染色した。	

(4) 機織り伝承教室		
開催日	毎週火曜・木曜日	 機織りの実演展示
開催場所	体験学習室、エントランスホール	
講師	資料館ボランティア	
対象者	資料館ボランティアの希望者	
内容	高機を活用して機織りの技術を習得し、その技術を伝承した。	
(5) 機織り体験教室		
開催日	3月5日(木)～13日(金)まで(8回)	 機織り体験
開催場所	体験学習室、エントランスホール	
参加人数	延べ24人	
講師	資料館ボランティア	
内容	龍ヶ崎木綿への理解を促進し、製作技術の一端を伝承した。	
(6) 簡単機織り教室		
開催日	① 8月16日(土)、②8月17日(日)	 卓上機織り機
開催場所	体験学習室	
参加人数	① 4人、②6人	
講師	資料館ボランティア	
内容	卓上の機織り機を用いて、不要になった布から新しく織物を織る「裂き織」を体験し、布のリサイクル方法を伝承した。	
(7) 龍ヶ崎とんび凧作り教室		
開催日	12月6日(土)	 とんび凧の説明
開催場所	体験学習室	
参加人数	7人	
講師	龍ヶ崎とんび凧研究会	
内容	制作工程を見直し、色付だけに短縮して開催した。図柄は「まいりゅう」に人気が集まった。	
(8) お手玉作り教室		
開催日	2月15日(日)	 お手玉の材料
開催場所	体験学習室	
参加人数	7人	
講師	資料館ボランティア	
内容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り、お手玉遊び・数え唄等を伝承し、昔の遊びに触れる機会を提供した。	

4 文化活動の推進及び支援

(1)『常陽小学生新聞』『昔の道具とくらし』に寄稿 【県南版】土浦・牛久・つくば・取手・龍ヶ崎・守谷・つくばみらいの各市の公立小学校・義務教育学校全児童に配布 【水戸版】水戸市の公立小学校全児童に配布	
内 容	当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を寄稿し、子どもたちに昔の道具とくらしへの関心を促すとともに、館のPRを図った。
タイトル	① 蛇の目傘(4月)、②蓑と笠(5月)、③豆腐屋さんのラッパ(6月)、 ④ 鐘[ハンドベル](7月)、⑤蠅帳(9月)、荷車(11月)、 ③ 風呂桶(1月)、⑧火消し壺(2月)、⑨天秤棒(3月)
 昔の道具とくらし 蓑と笠 令和 7 年 5 月号  昔の道具とくらし 豆腐屋さんのラッパ 令和 7 年 6 月号  昔の道具とくらし 荷車 令和 7 年 11 月号	
(2)『りゅうほー』へ寄稿	
内 容	龍ヶ崎の歴史や民俗に関心を持っていただく目的で広報紙に、収蔵品や収蔵写真を紹介した。 ① 昭和 35 年(1960)撮影の小学校の運動会の徒競走様子と昭和 43 年撮影の運動会を筵(むしろ)に座って観戦する写真。(10月号) ② 横町にあった龍ヶ崎ショッピングセンター小網屋の昭和 49 年(1974)と同 58 年の写真。(12月号) ③ 昭和 30 年代の白黒テレビと街頭テレビの風景写真(3月号)
 令和 7 年 10 月号  令和 7 年 12 月号  令和 8 年 3 月号	
(3) デジタルスタンプラリー「龍ヶ崎の文化財を巡ろう」への協力	
期 間	11 月 17 日(月)~1 月 30 日(金)
参加者数	エントリー人数 395 人 (商品応募人数 210 人)
内 容	市観光物産協会主催のスタンプラリーのチェックポイントとして、文化財や市民遺産を提案し、解説原稿の作成に協力した。当館のチェックポイントは県指定文化財「馴馬城跡」と市指定文化財「内行花文鏡」とした。
 2025-2026年 龍ヶ崎市 11月17日(月)~1月30日(金) 龍ヶ崎にある文化財を巡ってスタンプを集めて賞品をゲット! スタンプラリーのチラシ	

(4) 資料閲覧及びレファレンス		
期 間	通年	
場 所	図書研究室、事務室	
利用資料	【貸出資料】 〔原資料〕 『広報龍ヶ崎』第 276 号～299 号、『広報龍ヶ崎』目次資料 〔写真・映像資料〕 卷子『鷹野御成図』写真データ、龍ヶ崎鉄道の写真12点、龍ヶ崎鉄道の写真1点、撞舞の模型の写真1点、龍ヶ崎小学校の写真 60 点、撞舞の写真2枚、北竜台 NT の写真2枚、昔の道具写真(白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫) 【閲覧資料】 来迎院多宝塔の宝珠複製、錦絵「常州女化狐子別之場」	
(5) 学芸員実習生の受入れ		
期 間	8月 19 日(火)～24日(日)	
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住、出身者及び近隣市町村在住者	
内 容	大学から依頼のあった実習生を指導し、学芸員養成の支援を行った。 【実習生の出身校】 二松学舎大学文学部歴史文化学科、立正大学文学部史学科、筑波大学人文・文化学群人文学類	
(6) 職場体験の受入れ		
期 間	① 7月 23 日(水)、②11月 5 日(水)・6 日(木)、 ② 11月 11 日(火)・12 日(水)、④12月 11 日(木)・12 日(金)	
受入れ校	① 竜一附中 1 人、②城ノ内中 4 人、③長山中 3 人、④城西中 2 人	
内 容	学校から依頼のあった生徒に、機織り体験や民具調査の手順、出身地域の今昔写真を対比して解説する展示実習を行わせ、資料館業務への理解を深めた。	
(7) ボランティア活動の推進及び支援		
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住、出身者及び近隣市町村在住者	
内 容	資料館や関連事業を市民や来館者に、より身近な生涯学習の場として、親しむことができる人材を育成し、ボランティアが参画する事業を推進した。 【育成及び協働団体】 資料館ボランティア、龍ヶ崎市古文書同好会、市民環境部会道標調査	
(8) 小学校見学学習支援		
期 間	1月 20 日(火)～2 月 20 日(金)	
場 所	展示室、多目的室、エントランスホール	
対 象 者	市内、近隣の小学校3年生	
受入れ校	① 市内:全10 小学校 ② 市外:ひたち野うしく小、阿見第二小、おくの義務教育学校 23 クラス、延べ 653 人を受入れた。	

内 容	小学校3年生の社会科『古い道具と昔のくらし』の学習に合わせ、昔の道具の展示解説、「米作り脱穀関連用具」のビデオ上映をした。また、綿繰りや糸紡ぎ、卓上機の体験等は資料館ボランティアの協力を得て指導した。	 昔の道具解説風景
-----	---	--

5 資料収集整理保存

(1) 資料の収集	
内 容	資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。合わせて、郷土史関係図書の充実を図るため自治体史、博物館発行図書の収集を行った。 【収集資料】(※ ○は寄贈、●は寄託、()内は寄贈・寄託者氏名) ○テレホンカード「二科会相澤和郎画」セット、○8mmフィルム「昭和53年米葉師堂修繕落慶式」等 4 巻、○第八期乙種飛行予科練練習生卒業記念アルバム」等 50 点、○昭和38年撮影龍ヶ崎線の風景写真、○川北英司画『赤衣の裸婦』、○羽田精機(株)龍ヶ崎工場資料等 11 点、○ダーリントン平底レール、○馴柴村消防団半鐘、○横町奉射講文書一式、○石器類収納額等10点、○昭和46年『龍ヶ崎地方戸別明細図』、○二人挽き大鋸等、○鈴木久家文書334点、○小野瀬家文書142点 ●桜井家文書1666点 【寄贈図書】(発行機関名) (茨城県) 茨城県教育財団、茨城県立歴史館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、土浦市立博物館、神栖市教育委員会、稲敷市立歴史民俗資料館、かすみがうら市歴史博物館、大洗町幕末と明治の博物館、常陸大宮市教育委員会、常陸大宮市文書館、東海村教育委員会、水戸市立博物館、笠間市教育委員会、鹿嶋市教育委員会、美浦村教育委員会、つくば市教育委員会、つくばみらい教育委員会、河内村教育委員会、牛久市、八千代町教育委員会、日立市郷土博物館、那珂市教育委員会、外 (千葉県) 国立歴史民俗博物館、千葉県文書館、千葉県教育振興財団、県立房総のむら、県立関宿城博物館、印西市立印旛歴史民俗資料館、印西市教育委員会、松戸市立博物館、野田市郷土博物館、流山市教育委員会、市立市川歴史博物館、成田市教育委員会、白井市郷土資料館、茂原市教育委員会、外 (埼玉県) 埼玉県立歴史と民俗の博物館、埼玉県立川の博物館、朝霞市立博物館、富士見市立難波田城資料館、外 (東京都) 東京都江戸東京博物館、板橋区教育委員会、板橋区立郷土資料館、品川歴史館、港区立郷土歴史館、昭和館、外 (神奈川県) 横浜市歴史博物館、平塚市博物館、大磯町郷土資料館、外 (その他) 群馬県立歴史博物館、相馬市教育委員会、仙台市博物館、長久保赤水顕彰会、駒澤大学禅文化歴史博物館、外
(2) 資料の整理・保存	
内 容	市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い、郷

	土史の調査研究に活用するため目録作成を継続した。 また、収蔵資料及び展示資料の虫害、菌害状況を防止するために燻蒸業務を実施した。 実施期間:9月8日(月)～13日(土)
(3)市内資料(古文書等)の所在状況確認	
内 容	当市の市史編さん事業は平成11年(1999)度に終了した。その過程で資料の一部は資料館に寄贈・寄託され、残りは所蔵者に返却した。このうち市史等の掲載した主要な資料について、世代交代等による所蔵者の確認と合わせて、所在状況を確認するアンケート調査を実施した。 調査件数:22件 ・回 答 数:16件(無回答6件) ・所蔵している:9件(わからない・所蔵していない7件) ・調査後:寄託1件、寄贈1件

別紙1

龍ヶ崎市歴史民俗資料館入館者数(令和 3 年度～令和 7 年度)

月 度	年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	開館日数	月平均	日平均
R7		1,200	1,625	2,184	1,366	2,185	963	1,628	2,137	1,162	1,518	1,387	1,292	18,647	301	1,554	62
前年度差		138	492	932	△ 326	470	△ 121	△ 595	661	△ 293	△ 67	△ 334	148	1,105	△ 4	92	4
R6		1,062	1,133	1,252	1,692	1,715	1,084	2,223	1,476	1,455	1,585	1,721	1,144	17,542	305	1,462	58
R5		1,239	1,244	1,344	1,327	1,757	1,272	1,694	2,190	1,171	1,659	1,742	1,552	18,191	302	1,516	60
R4		1,222	1,119	1,154	1,636	1,984	1,510	1,967	1,784	1,560	1,321	2,038	1,789	19,084	305	1,590	63
R3		1,162	1,226	1,020	1,451	339	291	2,002	1,827	1,052	915	728	1,165	13,178	267	1,098	49
合 計		5,885	6,347	6,954	7,472	7,980	5,120	9,514	9,414	6,400	6,998	7,616	6,942	86,642	1,480	7,220	59
平 均		1,177	1,269	1,391	1,494	1,596	1,024	1,903	1,883	1,280	1,400	1,523	1,388	17,328	296	1,444	59

開館以来の延べ数	
入館者数	836,382
開館日数	10,570
日平均	79

令和7年度	展 示 名 称	入館者	開催日数	日平均
4/15～5/6	資料館ボランティア作品展「布れあい染織展」	1,061	20	53
5/17～6/22	収蔵品展「つくば科学万博40周年」	2,807	32	88
6/28～7/13	長崎原爆被災写真パネル展	723	14	52
8/1～9/7	収蔵品展「資料が語る戦争の記憶」	2,474	33	75
9/20～10/19	絹本著色十六羅漢像複製品公開展	1,361	26	52
10/25～11/9	郷土作家展「中原篤徳」展	1,487	14	106
11/23～12/20	龍ヶ崎小学校タイムカプセル展	1,485	24	62
1/17～3/29	企画展「昔の道具よむ・みる・きく・あそぶ」	3,707	62	60

別紙2

龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

氏 名	選出区分	備 考
もろはし ともりの 諸橋 智紀	学校教育関係者 (市立久保台小学校教頭)	
くろだ ともみ 黒田 友美	学校教育関係者 (市立八原小学校教諭)	
お の たけと 小野 威人	学校教育関係者 (県立並木中等教育学校副校長)	
さかいり ようこ 酒入 陽子	学校教育関係者 (流通経済大学教授)	
ふじもと ひろこ 藤本 弘子	社会教育関係者 (資料館ボランティア会員)	
よしば としゆき 由波 俊幸	学識経験者 (茨城県立歴史館学芸課長)	
きとう まさよし 佐藤 正好	学識経験者 (市文化財保護審議会委員)	
つかもと ゆたか 塚本 裕	学識経験者 (龍ヶ崎市商工会長)	
もちづき すすむ 望月 進	学識経験者 (龍ヶ崎市観光物産協会会長)	
きくち よしこ 菊地 禎子	公募の市民	

任期:令和7年10月1日から令和9年9月30日まで